

# 臨床指標

## クリニカルインディケーター



J A 岐 阜 厚 生 連  
岐 阜 ・ 西 濃 医 療 セ ン タ ー  
西 濃 厚 生 病 院  
令 和 6 年 1 月 作 成

# 目次

## **病院全体の指標**

- 1-1 患者数  
    外来患者数、入院患者数、1日あたり患者数
- 1-2 平均在院日数
- 1-3 病床稼働率
- 1-4 主要疾患別患者数
- 1-5 主要な手術件数
- 1-6 化学療法件数
- 1-7 救急車搬送患者数・救急患者数
- 1-8 褥瘡推定発生率・有病率
- 1-9 MRSA発生率
- 1-10 転倒・転落率

## **各科に関する指標**

- 2-1 薬剤に関する指標  
    処方箋枚数、無菌製剤処理件数
- 2-2 画像診断に関する指標  
    検査項目別実施件数、共同器機利用件数
- 2-3 臨床検査に関する指標  
    救急医療指数、検査項目別実施件数
- 2-4 リハビリテーションに関する指標  
    疾患別リハビリテーション実施件数
- 2-5 栄養に関する指標  
    栄養指導実施件数、栄養サポートチーム回診件数、NST外来件数
- 2-6 医療機器の安全管理に関する指標

## **看護に関する指標**

- 3-1 認定看護師
- 3-2 特定行為看護師

## **地域医療連携に関する指標**

- 4-1 紹介率・逆紹介率

## 病院全体の指標

### 1-1 外来・入院の新患者数・延患者数・1日あたり患者数

外来患者及び入院患者の延患者数と1日あたり平均して何人の患者さんが外来を受診されたか、また入院されているかを表す数値です。

#### 【外来】

(単位：人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新規患者数	22,712	20,793	14,594	14,789	17,344
延患者数	113,938	106,457	87,473	86,480	88,480
1日あたり患者数	467.0	441.7	360.0	357.4	364.1

#### 【入院】

(単位：人)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
患者数	新規患者数	2,725	2,474	2,230	2,683	2,662
	延患者数	70,802	62,668	53,234	54,242	56,837
1日当	一般病棟	121.5	123.0	106.2	83.1	91.4
	地域包括ケア病棟	37.1	37.7	33.0	32.0	30.9
	医療療養病棟	35.4	35.2	32.4	30.7	26.4
	合計	194	171.7	145.8	148.6	155.7

### 1-2 平均在院日数の推移

平均在院日数とは、入院患者さんが平均して何日間在院したかを示す数値です。

病院の機能や患者さんの重症度などにより在院日数は変動するものであり、医療管理上のみならず病院経営の面からも重要な指標となっています。

(単位：日)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般病棟(7対1)	17.0	17	15	14	15.2
地域包括ケア病棟	38.6	31.8	32.1	25.1	27.1
医療療養病棟	232.8	129.1	158.1	335.9	249.9

### 1-3 病床稼働率

病床稼働率は、病床（ベッド）がどれだけ利用されているかを示す数値です。数値が高いほど効率よく病床が利用されていることを表します。

(単位：%)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般病棟(7対1)	69.8	61.6	47.8	52.5	55.5
地域包括ケア病棟	67.5	60.1	58.2	56.3	62.4
医療療養病棟	68.1	62.3	59.1	50.7	47.8
全体	69.0	61.1	51.9	52.9	55.4

## 1-4 主要疾患別患者数

主要疾患別患者数は、退院された患者さんの疾患（最も医療資源を投入した傷病名）を国際疾病分類（ICD）に分類し、統計化したものです。当院がどのような医療を行っているのかを最も端的に表しており、経年変化を注視することにより、地域医療に果たす役割を分析する指標となります。

(単位：件)

ICD		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
A02	その他のサルモネラ感染症	1		1	2	
A04	その他の細菌性腸管感染症	15	9	11	16	12
A08	ウイルス性及びその他の明示された腸管感染症	2	2	3	2	1
A09	その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの	17	15	8	15	22
A15	呼吸器結核、細菌学的又は組織学的に確認されたもの			1		
A16	呼吸器結核、細菌学的又は組織学的に確認されていないもの	1	4	3	3	
A31	その他の非結核性抗酸菌による感染症	1	2	1		2
A32	リステリア症			1		
A35	その他の破傷風			1		
A40	連鎖球菌性敗血症			5	3	1
A41	その他の敗血症	22	53	36	31	37
A46	丹毒			1		
A48	その他の細菌性疾患、他に分類されないもの	1	1		2	
A49	部位不明の細菌感染症		3	7	9	3
A75	発疹チフス			3	1	
A81	中枢神経系の非定型ウイルス感染症	4	3	2	3	3
A86	詳細不明のウイルス（性）脳炎	1				
A93	その他の節足動物媒介ウイルス熱、他に分類されないもの	1				
B00	ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] 感染症	2		1		2
B02	帯状疱疹 [帯状ヘルペス]		3	5	6	5
B16	急性B型肝炎				1	
B17	その他の急性ウイルス性肝炎	1		1	2	3
B18	慢性ウイルス性肝炎		1	3	11	2
B25	サイトメガロウイルス病			1		1
B27	伝染性単核症					3
B33	その他のウイルス性疾患、他に分類されないもの				1	
B34	部位不明のウイルス感染症		1		1	
B37	カンジダ症		1	2	1	1
B44	アスペルギルス症	1	1	1	1	1
B49	詳細不明の真菌症		1			
B59	ニューモシスチス症	1				

(単位：件)

ICD		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
C08	その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物<腫瘍>	2				
C13	下咽頭の悪性新生物<腫瘍>			1		
C14	その他及び部位不明確の口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>	1				
C15	食道の悪性新生物<腫瘍>	8	6	3	7	7
C16	胃の悪性新生物<腫瘍>	52	52	69	54	64
C17	小腸の悪性新生物<腫瘍>		2		4	5
C18	結腸の悪性新生物<腫瘍>	55	54	53	48	36
C19	直腸S状結腸移行部の悪性新生物<腫瘍>	3	1		1	
C20	直腸の悪性新生物<腫瘍>	55	63	43	37	28
C21	肛門及び肛門管の悪性新生物<腫瘍>			1		
C22	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	8	6	8	8	4
C23	胆のう<囊>の悪性新生物<腫瘍>	7	1	4	3	3
C24	その他及び部位不明の胆道の悪性新生物<腫瘍>	5	7	10	17	11
C25	膵の悪性新生物<腫瘍>	13	16	13	31	26
C26	その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物<腫瘍>	1				
C32	喉頭の悪性新生物<腫瘍>					1
C34	気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	35	17	26	9	21
C44	皮膚のその他の悪性新生物<腫瘍>	3				
C45	中皮腫	1		3		
C48	後腹膜及び腹膜の悪性新生物<腫瘍>	1	1		1	
C49	その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>		1			
C50	乳房の悪性新生物<腫瘍>	40	28	20	27	29
C51	外陰(部)の悪性新生物<腫瘍>				1	
C53	子宮頸部の悪性新生物<腫瘍>	1	2		1	1
C54	子宮体部の悪性新生物<腫瘍>		1		1	
C55	子宮の悪性新生物<腫瘍>、部位不明			1		
C56	卵巣の悪性新生物<腫瘍>	4	8			
C61	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	8	3	5	7	7
C62	精巣<睾丸>の悪性新生物<腫瘍>	2	3			
C63	その他及び部位不明の男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>		2	1	1	
C64	腎盂を除く腎の悪性新生物<腫瘍>	4	3	3	5	1
C65	腎盂の悪性新生物<腫瘍>	1		1	2	
C66	尿管の悪性新生物<腫瘍>	2	1	2		
C67	膀胱の悪性新生物<腫瘍>	48	30	25	35	36

(単位：件)

ICD		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
C71	脳の悪性新生物<腫瘍>				1	
C77	リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>			1		
C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍>	18	17	16	10	10
C79	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物<腫瘍>	2	9	4	6	6
C80	悪性新生物<腫瘍>、部位が明示されていないもの	1	1	1	1	2
C82	ろ<濾>胞性リンパ腫			1		
C83	非ろ<濾>胞性リンパ腫	1	1	5	1	3
C85	非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	1	4	6	4	5
C86	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型		1			
C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物<腫瘍>				1	3
D09	その他及び部位不明の上皮内癌	1		2	1	
D12	結腸、直腸、肛門及び肛門管の良性新生物<腫瘍>	2	4	1	8	8
D13	消化器系のその他及び部位不明の良性新生物<腫瘍>		4	3		2
D16	骨及び関節軟骨の良性新生物<腫瘍>	1				
D18	血管腫及びリンパ管腫、全ての部位	1				
D21	結合組織及びその他の軟部組織のその他の良性新生物<腫瘍>	1	1			
D24	乳房の良性新生物<腫瘍>	1	1		1	
D27	卵巣の良性新生物<腫瘍>		1		1	
D32	髄膜の良性新生物<腫瘍>	1		1	2	
D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>		7	6	6	6
D38	中耳、呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>		1		1	
D40	男性生殖器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	2	1			
D41	腎尿路の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>		1			
D43	脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	1				
D46	骨髄異形成症候群	3		6	6	5
D47	リンパ組織、造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物<腫瘍>				1	
D48	その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	4	2			1
D50	鉄欠乏性貧血	6	1	5	10	10
D51	ビタミンB12欠乏性貧血	1	1			1
D52	葉酸欠乏性貧血			1		
D59	後天性溶血性貧血	2				
D61	その他の無形成性貧血	3		2	4	8
D62	急性出血後貧血	1	4	1		
D64	その他の貧血				1	
D65	播種性血管内凝固症候群〔脱線維素症候群〕	4	5	17	14	13
D69	紫斑病及びその他の出血性病態	2		3	3	
D70	無顆粒球症	2	1	2		
D72	白血球のその他の障害				1	
D86	サルコイドーシス			2		
D89	その他の免疫機構の障害、他に分類されないもの	1		1		

(単位：件)

ICD		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
E03	その他の甲状腺機能低下症	2		1	1	
E10	1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>	3	2	3	1	3
E11	2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	41	44	31	30	37
E13	その他の明示された糖尿病				1	
E14	詳細不明の糖尿病				1	
E15	非糖尿病性低血糖性昏睡		1		1	
E16	その他の膵内分泌障害	2			2	4
E23	下垂体機能低下症及びその他の下垂体障害	3	3		2	1
E27	その他の副腎障害	1				2
E34	その他の内分泌障害			1		1
E43	詳細不明の重度タンパク<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)	10	7	6	1	
E44	中等度及び軽度のタンパク<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)	20	12	6	5	5
E51	チ<サイ>アミン欠乏症		1			
E72	その他のアミノ酸代謝障害					1
E83	ミネラル<鉱質>代謝障害		2	1	1	
E86	体液量減少(症)	15	15	12	14	22
E87	その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害	6	12	6	4	9
E88	その他の代謝障害		1	3	1	1
F03	詳細不明の認知症	1			3	1
F10	アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害		3	3	1	2
F19	多剤使用及びその他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害			1		
F32	うつ病エピソード	1				
F34	持続性気分〔感情〕障害		1			
F41	その他の不安障害				1	
F45	身体表現性障害	2	1	1	1	1
F50	摂食障害	4	2	4	3	1
G00	細菌性髄膜炎、他に分類されないもの			1		
G06	頭蓋内及び脊椎管内の膿瘍及び肉芽腫			1		
G10	ハンチントン<Huntington>病			1		
G12	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	2	1	5	1	3
G20	パーキンソン<Parkinson>病	5	3	1	5	3
G21	続発性パーキンソン<Parkinson>症候群				1	



(単位：件)

ICD		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
G23	基底核のその他の変性疾患	1	2		1	2
G25	その他の錐体外路障害及び異常運動	1				2
G30	アルツハイマー<Alzheimer>病	3	5	4	5	3
G31	神経系のその他の変性疾患，他に分類されないもの			1	2	3
G35	多発性硬化症				1	
G40	てんかん	13	4	7	7	6
G41	てんかん重積（状態）	1				
G43	片頭痛	2				
G44	その他の頭痛症候群		1			
G45	一過性脳虚血発作及び関連症候群	8	2	3	1	
G47	睡眠障害	6	1	1	1	5
G56	上肢の単ニューロパチ<シ>-		1			
G61	炎症性多発（性）ニューロパチ<シ>-	2		1		
G70	重症筋無力症及びその他の神経筋障害				1	
G71	原発性筋障害			1		
G72	その他のミオパチ<シ>-	3	2			1
G80	脳性麻痺				1	
G90	自律神経系の障害	4	5	3	3	
G91	水頭症			1		
G93	脳のその他の障害	6		2		1
G95	その他の脊髄疾患			1		
H16	角膜炎	1	1			
H25	老人性白内障	54	55	53	82	58
H26	その他の白内障		2	1		
H28	他に分類される疾患における白内障及び水晶体のその他の障害			1		
H81	前庭機能障害	21	17	19	20	20
H91	その他の難聴			1		
I08	連合弁膜症	3	2		1	
I10	本態性（原発性<一次性>）高血圧（症）	1	2	1	2	1
I11	高血圧性心疾患	2				
I20	狭心症	41	31	18	21	17
I21	急性心筋梗塞	13	8	4	8	4
I24	その他の急性虚血性心疾患				1	

(単位：件)

ICD		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
I25	慢性虚血性心疾患	46	17	6	4	1
I26	肺塞栓症			2	3	1
I27	その他の肺性心疾患	2				
I30	急性心膜炎	1				
I31	心膜のその他の疾患	2	1	2	1	
I33	急性及び亜急性心内膜炎	1	1	2	1	
I34	非リウマチ性僧帽弁障害	16	4		1	
I35	非リウマチ性大動脈弁障害	13	3	1	1	
I40	急性心筋炎					1
I42	心筋症	1				1
I44	房室ブロック及び左脚ブロック	5	2	8	3	3
I45	その他の伝導障害	2				1
I46	心停止	2	7	6	5	8
I47	発作性頻拍（症）		4		3	
I48	心房細動及び粗動	22	13	3	14	10
I49	その他の不整脈	9	7	5	4	2
I50	心不全	91	93	95	115	123
I51	心疾患の合併症及び診断名不明確な心疾患の記載	2	2	2	1	1
I60	くも膜下出血	2	1	3	1	1
I61	脳内出血	23	15	9	9	14
I62	その他の非外傷性頭蓋内出血	2	1	1	2	1
I63	脳梗塞	94	74	65	56	50
I66	脳動脈の閉塞及び狭窄，脳梗塞に至らなかったもの	1	1	3	1	1
I67	その他の脳血管疾患	2		6	11	8
I69	脳血管疾患の続発・後遺症	17	25	19	18	26
I70	アテローム<じゅく<粥>状>硬化（症）	3	3		2	1
I71	大動脈瘤及び解離	11	4	1	5	6
I72	その他の動脈瘤及び解離		2		1	
I74	動脈の塞栓症及び血栓症	2				
I80	静脈炎及び血栓（性）静脈炎	1	1	1		1
I85	食道静脈瘤		4	3	3	2
I86	その他の部位の静脈瘤		1			
I88	非特異性リンパ節炎		3	1		
I95	低血圧（症）		2		2	2

(単位：件)

ICD		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
J02	急性咽頭炎	2	1	1		
J03	急性扁桃炎	4	1	2	2	
J05	急性閉塞性喉頭炎〔クループ〕及び喉頭蓋炎			1		1
J10	その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	2	2			
J11	インフルエンザ，インフルエンザウイルスが分離されないもの	1				
J12	ウイルス肺炎，他に分類されないもの	6	1	2		1
J13	肺炎連鎖球菌による肺炎	15	23	8	1	4
J14	インフルエンザ菌による肺炎	6	5	1		
J15	細菌性肺炎，他に分類されないもの	60	111	99	61	59
J18	肺炎，病原体不詳	81	57	36	42	55
J20	急性気管支炎	8	3	1	1	4
J21	急性細気管支炎					1
J36	扁桃周囲膿瘍	8	5	2	2	5
J42	詳細不明の慢性気管支炎	1				
J43	肺気腫	7	6	4	2	3
J44	その他の慢性閉塞性肺疾患	8	3	5	6	3
J45	喘息	3	3	4	2	1
J46	喘息発作重積状態	6	7	2	2	1
J47	気管支拡張症					1
J69	固形物及び液状物による肺臓炎	147	92	86	102	106
J70	その他の外的因子による呼吸器病態		4	2		
J80	成人呼吸窮<促>迫症候群<ARDS>	5	5	4		2
J82	肺好酸球症，他に分類されないもの	1		1		
J84	その他の間質性肺疾患	12	23	13	10	15
J85	肺及び縦隔の膿瘍	3	2	2		1
J86	膿胸（症）	3		3	2	2
J90	胸水，他に分類されないもの	3	5	8	3	4
J93	気胸	16	16	13	10	5
J94	その他の胸膜病態				2	
J96	呼吸不全，他に分類されないもの	4	5	4	4	2
J98	その他の呼吸器障害	1			1	1

(単位：件)

ICD		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
K11	唾液腺疾患		2			
K20	食道炎					1
K21	胃食道逆流症	3	4	1	1	2
K22	食道のその他の疾患	3	1	1	3	4
K25	胃潰瘍	23	13	13	18	14
K26	十二指腸潰瘍	6	3	5	8	9
K29	胃炎及び十二指腸炎	4	2	1	1	1
K30	機能性ディスペプシア	1	3	1		
K31	胃及び十二指腸のその他の疾患	5	1		2	2
K35	急性虫垂炎	28	20	14	20	13
K36	その他の虫垂炎	2				3
K37	詳細不明の虫垂炎					1
K40	そけい<鼠径>ヘルニア	54	55	33	37	40
K41	大腿<股>ヘルニア	4	3	2	1	
K42	臍ヘルニア	1	1	2	1	3
K43	腹壁ヘルニア	1	8	5	3	4
K44	横隔膜ヘルニア	1		2	3	3
K45	その他の腹部ヘルニア	1		2		1
K51	潰瘍性大腸炎	1	3	3	3	
K52	その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎	2	1	1	2	1
K55	腸の血行障害	17	18	25	20	22
K56	麻痺性イレウス及び腸閉塞、ヘルニアを伴わないもの	65	50	36	39	35
K57	腸の憩室性疾患	21	20	19	20	25
K59	その他の腸の機能障害	3	1	1	3	1
K60	肛門部及び直腸部の裂(溝)及び瘻(孔)		1		1	2
K61	肛門部及び直腸部の膿瘍	1		1		
K62	肛門及び直腸のその他の疾患	35	32	25	65	29
K63	腸のその他の疾患	163	191	130	193	166
K64	痔核及び肛門周囲静脈血栓症	4	8	4	1	4
K65	腹膜炎	7	10	10	12	8
K66	腹膜のその他の障害			1	1	

(単位：件)

ICD		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
K70	アルコール性肝疾患	7	15	8	6	7
K72	肝不全, 他に分類されないもの		1		1	3
K74	肝線維症及び肝硬変	1	6	7	4	6
K75	その他の炎症性肝疾患		2	1	2	4
K76	その他の肝疾患	2		2	2	
K80	胆石症	74	85	79	70	101
K81	胆のう<嚢>炎	7	11	9	13	11
K82	胆のう<嚢>のその他の疾患	1	1			
K83	胆道のその他の疾患	2	6	11	8	20
K85	急性膵炎	10	14	6	6	12
K86	その他の膵疾患	4	1		1	1
K91	消化器系の処置後障害, 他に分類されないもの	4	4	10	4	13
K92	消化器系のその他の疾患	8	14	10	9	9
L02	皮膚膿瘍, せつ<フルンケル>及びよう<カルブンケル>	2	1	2	1	
L03	蜂巣炎<蜂窩織炎>	26	22	14	14	17
L04	急性リンパ節炎	1	1			
L12	類天疱瘡		1	1		1
L20	アトピー性皮膚炎	1			1	
L50	じんま<蕁麻>疹					1
L51	多形紅斑		2	1		
L53	その他の紅斑性病態		1			
L89	じょく<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域	11	9	5	3	4
L97	下肢の潰瘍, 他に分類されないもの			2	1	
L98	皮膚及び皮下組織のその他の障害, 他に分類されないもの				1	
M00	化膿性関節炎	1	2			
M05	血清反応陽性関節リウマチ	1				
M06	その他の関節リウマチ	1		1	1	1
M11	その他の結晶性関節障害	1	4		3	2
M13	その他の関節炎	1				
M16	股関節症 [股関節部の関節症]	4	4			
M18	第1手根中手関節の関節症				1	

(単位：件)

ICD		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
M31	その他のえく壊>死性血管障害	1			1	
M32	全身性エリテマトーデス<紅斑性狼瘡><SLE>		1		1	
M33	皮膚(多発性)筋炎		1		2	1
M34	全身性硬化症	1				
M35	その他の全身性結合組織疾患	1	2	2		5
M41	(脊柱)側弯(症)	1				
M45	強直性脊椎炎				1	
M46	その他の炎症性脊椎障害	1	2	2		
M47	脊椎症	7	4			2
M48	その他の脊椎障害	8	6			
M51	その他の椎間板障害	1	1			
M54	背部痛	1				
M62	その他の筋障害	9	10	16	16	23
M71	その他の滑液包障害		1			
M72	線維芽細胞性障害	1		2	2	
M80	骨粗しょうく鬆>症<オステオポロシス>,病的骨折を伴うもの	2				
M84	骨の癒合障害	2				
M86	骨髄炎	1				
M96	処置後筋骨格障害,他に分類されないもの	1	3	3		
N03	慢性腎炎症候群		1	1		
N04	ネフローゼ症候群	1	1	1		2
N10	急性尿細管間質性腎炎	49	30	36	40	21
N11	慢性尿細管間質性腎炎	2				2
N12	尿細管間質性腎炎,急性又は慢性と明示されないもの				3	1
N13	閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	3	1	4	1	6
N17	急性腎不全	33	12	13	18	7
N18	慢性腎臓病	38	31	36	38	32
N19	詳細不明の腎不全	4	1			1
N20	腎結石及び尿管結石	30	24	25	29	33
N21	下部尿路結石	4	9	8	8	13
N28	腎及び尿管のその他の障害,他に分類されないもの	2	2	1		2
N30	膀胱炎	3		4	2	1

(単位：件)

ICD		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
N32	その他の膀胱障害	3		6	4	3
N35	尿道狭窄	1				
N36	尿道のその他の障害		1			1
N39	尿路系のその他の障害	1	11	14	50	58
N40	前立腺肥大(症)	5	2	10	3	3
N41	前立腺の炎症性疾患	1	4	2	1	2
N42	前立腺のその他の障害	1	1			3
N43	精巣<睾丸>水腫及び精液瘤	1	5	2	3	4
N44	精巣<睾丸>捻転	1				1
N45	精巣<睾丸>炎及び精巣上体<副睾丸>炎				1	
N99	腎尿路生殖器系の処置後障害、他に分類されないもの	1		1		
Q64	尿路系のその他の先天奇形	1				
R04	気道からの出血	1	1	3	1	2
S00	頭部の表在損傷	2	2	1		
S01	頭部の開放創	2		2		2
S02	頭蓋骨及び顔面骨の骨折		1	1		
S06	頭蓋内損傷	14	11	4	3	4
S12	頸部の骨折	1		1		2
S13	頸部の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン	1				
S14	頸部の神経及び脊髄の損傷	2	2		1	2
S20	胸部<郭>の表在損傷		1			
S22	肋骨、胸骨及び胸椎骨折	16	7	14	7	8
S24	胸部<郭>の神経及び脊髄の損傷		1			
S27	その他及び詳細不明の胸腔内臓器の損傷	8	4	3	4	2
S30	腹部、下背部及び骨盤部の表在損傷	4		1	1	
S32	腰椎及び骨盤の骨折	21	25	20	31	16
S36	腹腔内臓器の損傷		1			
S37	腎尿路生殖器及び骨盤臓器の損傷			1		
S42	肩及び上腕の骨折	11	12	4	3	

(単位：件)

ICD		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
S52	前腕の骨折	30	21	1	1	1
S70	股関節部及び大腿の表在損傷	2	1			
S72	大腿骨骨折	140	122	37	36	50
S73	股関節部の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン	3	1			
S76	股関節部及び大腿の筋及び腱の損傷	1	1			1
S80	下腿の表在損傷			1		
S82	下腿の骨折、足首を含む	21	30	7	1	4
S86	下腿の筋及び腱の損傷		1			
S92	足の骨折、足首を除く	4	4	2	1	3
S93	足首及び足の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン	1				
T00	多部位の表在損傷			2		
T02	多部位の骨折	5	2	3	1	
T14	部位不明の損傷					1
T17	気道内異物	4	4	5	5	3
T18	消化管内異物	1	2	1		2
T19	尿路性器内異物	1				1
T20	頭部及び頸部の熱傷及び腐食	1				
T21	体幹の熱傷及び腐食					1
T24	股関節部及び下肢の熱傷及び腐食、足首及び足を除く	1				1
T42	抗てんかん薬、鎮静・催眠薬及び抗パーキンソン病薬による中毒	1	1		1	
T43	向精神薬による中毒、他に分類されないもの		2	1		1
T50	利尿薬、その他及び詳細不明の薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒			2	3	
T58	一酸化炭素の毒作用			1		
T60	農薬の毒作用					1
T63	有毒動物との接触による毒作用	10	3	14	11	5
T67	熱及び光線の作用	15	5	14	5	11
T68	低体温（症）		1	1		1
T71	窒息	2	1			
T75	その他の外因の作用	6	3	2	3	3
T78	有害作用、他に分類されないもの		5	1		2
T79	外傷の早期合併症、他に分類されないもの			1		
T81	処置の合併症、他に分類されないもの	4	2	2		4
T82	心臓及び血管のプロステーシス、挿入物及び移植片の合併症	9	6	6	8	4
T83	尿路性器プロステーシス、挿入物及び移植片の合併症		1			
T84	体内整形外科的プロステーシス、挿入物及び移植片の合併症	2	2		1	
T85	その他の体内プロステーシス、挿入物及び移植片の合併症	1			2	
T88	外科的及び内科的ケアのその他の合併症、他に分類されないもの			1		
T90	頭部損傷の続発・後遺症		1		1	1
T91	頸部及び体幹損傷の続発・後遺症	1		1	1	
U07	C O V I D - 1 9			132	453	350



## 1-5 主要な手術件数

急性期病院として、多くの手術を安全・確実に遂行することは重要な使命であり、術式別の手術状況を把握していくことが、地域医療に果たしている役割を総合的に判断するための指標となります。

器官等	手術名称	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
眼 部	<b>眼部の手術</b>	<b>115</b>	<b>69</b>	<b>102</b>	<b>69</b>
	網膜光凝固術(その他特殊なもの(一連につき))	32	16	19	8
	網膜光凝固術(通常のもの(一連につき))	23	2	0	0
	水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合)(その他のもの)	60	51	83	61
	水晶体再建術(眼内レンズを挿入しない場合)	0	0	0	0
乳 腺	<b>乳腺の手術</b>	<b>22</b>	<b>14</b>	<b>19</b>	<b>21</b>
	乳腺腫瘍摘出術(長径5センチメートル未満)	4	1	2	0
	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・胸筋切除を併施しないもの)	4	7	10	9
	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの))	10	5	2	3
	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術(腋窩部郭清を伴わないもの))	1	1	1	2
	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの(内視鏡下によるものを含む。)))	1	0	2	7
	乳腺悪性腫瘍手術(単純乳房切除術(乳腺全摘術))	2	0	2	0
乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの))	0	0	0	0	
胸 部	<b>胸部の手術</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
	胸腔鏡下肺切除術(肺嚢胞手術(楔状部分切除によるもの))	2	0	0	0
	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもの)	0	0	0	0
	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除)	0	0	0	0
	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(部分切除)	0	0	0	0
循 環 器	<b>循環器の手術</b>	<b>22</b>	<b>28</b>	<b>21</b>	<b>8</b>
	経皮的冠動脈形成術(不安定狭心症に対するもの)	0	0	0	0
	経皮的冠動脈形成術(その他のもの)	0	0	1	0
	経皮的冠動脈ステント留置術(急性心筋梗塞に対するもの)	0	0	0	0
	経皮的冠動脈ステント留置術(不安定狭心症に対するもの)	1	0	1	0
	経皮的冠動脈ステント留置術(その他のもの)	5	2	1	1
	体外ペースメーカー置入術	3	7	1	0
	ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)	6	13	5	4
	ペースメーカー交換術	4	4	7	3
	植込型心電図記録計移植術	0	0	0	0
	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき)(2日目以降)	0	0	0	0
	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき)(初日)	0	0	0	0
	下大静脈フィルター留置術	2	1	3	0
	下大静脈フィルター除去術	1	1	2	0

医事システムのデータベースから手術の術式名称と件数を抽出。

器官等	手術名称	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	
内視鏡検査	<b>内視鏡検査</b>	<b>1,881</b>	<b>1,743</b>	<b>1,992</b>	<b>2,230</b>	
	内視鏡下嚥下機能検査	56	112	105	92	
	喉頭ファイバースコープ	221	118	126	126	
	中耳ファイバースコープ	1	0	0	0	
	気管支ファイバースコープ	6	6	2	2	
	食道ファイバースコープ	0	0	0	0	
	胃・十二指腸ファイバースコープ	960	919	1,155	1,438	
	胆道ファイバースコープ	0	0	0	0	
	直腸ファイバースコープ	0	0	0	0	
	大腸内視鏡検査(S状結腸)	7	8	12	14	
	大腸内視鏡検査(下行結腸及び横行結腸)	5	1	4	4	
	大腸内視鏡検査(上行結腸及び盲腸)	463	432	440	397	
	膀胱尿道ファイバースコープ	162	147	148	157	
内視鏡手術	<b>内視鏡手術</b>	<b>386</b>	<b>319</b>	<b>441</b>	<b>530</b>	
	食道狭窄拡張術(内視鏡によるもの)	0	0	0	1	
	食道狭窄拡張術(拡張用バルーンによるもの)	0	0	0	8	
	食道ステント留置術	2	1	1	0	
	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	4	2	5	1	
	内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	2	2	5	3	
	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(その他のポリープ・粘膜切除術)	4	0	0	0	
	内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	0	1	2	1	
	内視鏡的消化管止血術	18	11	16	33	
	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	39	46	64	57	
	胃瘻除去術	0	0	0	0	
	胆嚢外瘻造設術	0	4	11	13	
	経皮的胆管ドレナージ術	0	3	6	8	
	内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術(ENBD)	2	12	11	4	
	内視鏡的胆道結石除去術(胆道碎石術を伴うもの)	3	0	0	1	
	内視鏡的胆道結石除去術(その他のもの)	1	4	0	1	
	内視鏡的胆道拡張術	0	1	1	2	
	内視鏡的乳頭切開術(乳頭括約筋切開のみもの)	24	31	33	52	
	内視鏡的乳頭切開術(胆道碎石術を伴うもの)	8	3	2	4	
	内視鏡的胆道ステント留置術	24	20	27	24	
	経皮的肝膿瘍ドレナージ術	0	1	3	1	
	内視鏡的膵管ステント留置術	1	0	0	1	
	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術(長径2センチメートル以上)		H28年度改定より削除			
	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術(長径2センチメートル未満)					
	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2センチメートル未満)	236	165	237	302	
	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2センチメートル以上)	10	7	16	12	
	小腸・結腸狭窄拡張術(内視鏡によるもの)	0	0	0	0	
小腸結腸内視鏡的止血術	8	5	1	1		

医事システムのデータベースから手術の術式名称と件数を抽出。

器官等	手術名称	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
腹部	<b>腹部の手術</b>	<b>77</b>	<b>55</b>	<b>52</b>	<b>56</b>
	ヘルニア手術(腹壁癒痕ヘルニア)	9	7	2	3
	ヘルニア手術(鼠径ヘルニア)	51	30	24	35
	ヘルニア手術(大腿ヘルニア)	3	1	3	0
	ヘルニア手術(骨盤部ヘルニア)(閉鎖孔ヘルニア)	0	2	0	1
	ヘルニア手術(膈ヘルニア)	2	2	0	3
	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)	6	5	13	8
	腹腔鏡下ヘルニア手術(大腿ヘルニア)	0	0	0	0
	急性汎発性腹膜炎手術	6	8	10	6
食道・胃部	<b>胃部の手術</b>	<b>17</b>	<b>11</b>	<b>15</b>	<b>20</b>
	腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術	0	0	0	0
	胃縫合術(大網充填術又は被覆術を含む。)	1	0	1	0
	胃切開術	1	0	0	0
	胃切除術(悪性腫瘍手術)	6	6	7	12
	胃全摘術(悪性腫瘍手術)	7	3	6	4
	胃切除術(単純切除術)	0	0	0	0
	腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術)	1	1	0	2
	腹腔鏡下胃切除術(単純切除術)	0	0	0	0
腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍切除術)	0	0	0	0	
胃腸吻合術(ブラウン吻合を含む。)	1	1	1	2	
膵胆肝部	<b>膵臓・胆嚢・肝臓等の手術</b>	<b>33</b>	<b>39</b>	<b>39</b>	<b>44</b>
	胆嚢摘出術	9	9	13	7
	腹腔鏡下胆嚢摘出術	23	27	24	35
	肝切除術(部分切除)(1歳以上の場合)	0	0	0	0
	肝切除術(外側区域切除)	0	0	1	0
	肝切除術(2区域切除)	0	0	0	0
	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として)(2センチメートル以内のもの)(その他のもの)	0	2	0	1
	膵頭部腫瘍切除術(周辺臓器(胃、結腸、腎、副腎等)の合併切除を伴う腫瘍切除術の場合)	0	0	0	0
	膵頭部腫瘍切除術(リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合)	0	0	0	0
脾摘出術	1	1	1	1	
		0	0	0	
小腸・大腸部	<b>小腸・大腸部の手術</b>	<b>97</b>	<b>69</b>	<b>62</b>	<b>43</b>
	腸管癒着症手術	6	4	7	1
	腹腔鏡下腸管癒着剥離術	0	0	0	1
	腸重積症整復術(非観血的なもの)	1	0	0	0
	腸重積症整復術(観血的なもの)	0	0	0	0
	小腸切除術(悪性腫瘍手術以外の切除術)	4	0	0	0
	小腸腫瘍。小腸憩室摘出術(メッケル憩室炎手術を含む)	0	0	0	0
	虫垂切除術(虫垂周囲膿瘍を伴わないもの)	3	3	3	4
	虫垂切除術(虫垂周囲膿瘍を伴うもの)	10	4	3	1
	腹腔鏡下虫垂切除術(虫垂周囲膿瘍を伴わないもの)	0	0	0	0
	結腸切除術(小範囲切除)	3	2	2	0
	結腸切除術(全切除、垂全切除又は悪性腫瘍手術)	22	17	13	12
	腹腔鏡下結腸切除術(小範囲切除、結腸半側切除)	0	0	0	1
	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	10	6	7	3
	人工肛門形成術	0	0	0	0
	腸瘻造設術	0	7	4	3
	腸閉塞症手術(腸重積症整復術)(非観血的なもの)	0	0	0	0
	腸閉塞症手術(腸管癒着症手術)	3	5	0	5
	腸閉塞症手術(小腸切除術)(悪性腫瘍手術以外の切除術)	3	0	0	0
	人工肛門造設術	12	6	3	3
	人工肛門閉鎖術(腸管切除を伴うもの)	1	0	0	0
	人工肛門閉鎖術(腸管切除を伴わないもの)	1	0	0	0
	直腸腫瘍摘出術	0	0	0	0
	直腸切除・切断術(切除術)	3	5	3	3
	直腸切除・切断術(切断術)	1	1	0	0
	直腸切除・切断術(低位前方切除術)	1	3	6	2
	直腸切除・切断術(超低位前方切除術(経肛門的結腸囊肛門吻合によるもの))	0	0	0	0
	腹腔鏡下直腸切除・切断術(低位前方切除術)	4	1	1	0
	腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術)	1	0	0	0
	痔核手術(脱肛を含む。)(根治手術)	2	2	5	4
	痔核手術(脱肛を含む。)(血栓摘出術)	0	0	0	0
	痔核手術(脱肛を含む。)(硬化療法(四段階注射法によるもの))	5	2	3	0
肛門周囲膿瘍切開術	0	1	0	0	
痔瘻根治手術(複雑なもの)	0	0	0	0	
肛門ポリープ切除術	1	0	2	0	
		0	0	0	
		0	0	0	

器官等	手術名称	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
その他		0	0	0	0
	子宮全摘術	0	0	0	0
	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	0	0	0	0
	子宮附属器腫瘍摘出術(両側)(開腹によるもの)	0	0	0	0
泌尿器科関係	<b>泌尿器科の手術</b>	<b>138</b>	<b>157</b>	<b>137</b>	<b>174</b>
	副腎摘出術	0	0	0	0
	経皮的尿路結石除去術(経皮的腎瘻造設術を含む。)	0	1	1	1
	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術(一連につき)	19	15	16	11
	腎摘出術	0	0	0	0
	腹腔鏡下腎摘出術	0	0	0	0
	腎(尿管)悪性腫瘍手術	1	1	0	0
	腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	0	3	1	0
	経皮的腎(腎盂)瘻造設術	5	7	8	6
	経尿道的尿路結石除去術(その他のもの)	7	2	1	2
	経尿道的尿管狭窄拡張術	0	0	0	0
	経尿道的尿管ステント留置術	43	56	47	79
	経尿道的尿管ステント抜去術	5	6	7	7
	尿管皮膚瘻造設術	0	0	0	2
	膀胱内凝血除去術	2	1	0	0
	膀胱異物摘出術(経尿道的手術)	3	5	6	4
	膀胱結石摘出術(経尿道的手術)	14	15	14	23
	膀胱壁切除術	0	1	0	0
	経尿道的電気凝固術	0	4	0	1
	膀胱水圧拡張術	0	1	0	0
	膀胱悪性腫瘍手術(全摘(回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの))	0	1	0	1
	膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)(その他のもの)	2	0	0	1
	膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)(電解質溶液利用のもの)	24	20	30	28
	膀胱瘻造設術	1	1	1	0
	尿道結石摘出術(前部尿道)	0	0	0	0
	女子尿道脱手術	0	0	1	1
	包茎手術(環状切除術)	2	1	0	0
	精巣摘出術	1	4	0	2
	精巣悪性腫瘍手術	0	1	0	1
	陰嚢水腫手術(その他のもの)	5	0	0	0
	精索捻転手術(対側の精巣固定術を伴うもの)	0	0	0	0
	経尿道的前立腺手術(その他のもの)	0	2	0	0
	経尿道的前立腺手術(電解質溶液利用のもの)	3	7	4	4
	前立腺悪性腫瘍手術	1	1	0	0
	バルトリン腺膿瘍切開術	0	1	0	0
	バルトリン腺膿瘍腫瘍摘出術(造袋術を含む)	0	0	0	0

医事システムのデータベースから手術の術式名称と件数を抽出。

Kコード	手術名称	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
K044	<b>骨折非観血的整復術</b>	<b>37</b>	<b>15</b>	<b>7</b>	<b>6</b>
	骨折非観血的整復術(上腕)	4	1	1	0
	骨折非観血的整復術(前腕)	23	12	4	4
	骨折非観血的整復術(下腿)	1	0	0	0
	骨折非観血的整復術(鎖骨)	0	0	0	0
	骨折非観血的整復術(手)	6	1	1	2
	骨折非観血的整復術(足その他)	1	1	1	0
	骨折非観血的整復術(大腿)	2	0	0	0
K046	<b>骨折観血的手術</b>	<b>122</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
	骨折観血的手術(上腕)	2	0	0	0
	骨折観血的手術(大腿)	77	0	0	0
	骨折観血的手術(前腕)	10	0	0	0
	骨折観血的手術(下腿)	24	0	0	0
	骨折観血的手術(鎖骨)	2	0	0	0
	骨折観血的手術(膝蓋骨)	3	0	0	0
	骨折観血的手術(足)	4	0	0	0
K047-2	難治性骨折超音波治療法(一連につき)	4	0	0	0
K047-3	超音波骨折治療法(一連につき)	5	0	0	0
K061	<b>関節脱臼非観血的整復術</b>	<b>45</b>	<b>12</b>	<b>9</b>	<b>10</b>
	関節脱臼非観血的整復術(小児肘内障)	17	7	6	4
	関節脱臼非観血的整復術(肩)	10	1	1	3
	関節脱臼非観血的整復術(股)	8	1	0	0
	関節脱臼非観血的整復術(肘)	2	0	1	1
	関節脱臼非観血的整復術(指)	8	2	1	2
	関節脱臼非観血的整復術(足)	0	0	0	0
	関節脱臼非観血的整復術(肩鎖)	0	1	0	0
K063	<b>関節脱臼観血的整復術</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
	関節脱臼観血的整復術(肩鎖)	1	0	0	0
	関節脱臼観血的整復術(肩)	0	0	0	0
	関節脱臼観血的整復術(足)	0	0	0	0
	関節脱臼観血的整復術(膝)	0	0	0	0
	関節脱臼観血的整復術(指)	0	0	0	0
K073	<b>関節内骨折観血的手術</b>	<b>9</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
	関節内骨折観血的手術(膝)	3	0	0	0
	関節内骨折観血的手術(肘)	4	0	0	0
	関節内骨折観血的手術(手)	0	0	0	0
	関節内骨折観血的手術(指)	0	0	0	0
	関節内骨折観血的手術(足)	2	0	0	0
	関節内骨折観血的手術(股)	0	0	0	0
	関節内骨折観血的手術(肩鎖)	0	0	0	0
K081	<b>人工骨頭挿入術</b>	<b>38</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
	人工骨頭挿入術(股)	34	0	0	0
	人工骨頭挿入術(肩)	4	0	0	0
K082	<b>人工関節置換術(股)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
K082	<b>人工関節置換術(膝)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
K142	<b>脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術</b>	<b>3</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。)(前方椎体固定)	0	0	0	0
	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。)(後方又は後側方固定)	0	0	0	0
	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。)(後方椎体固定)	0	0	0	0
	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。)(椎弓形成)	3	0	0	0
	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。)(椎弓切除)	0	0	0	0

医事システムのデータベースから手術の術式名称と件数を抽出。

## 1-6 外来化学療法件数の推移

外来化学療法室にて行われた化学療法の件数です。外来通院しながら化学療法を受けられる患者さんにご家族が安心して治療を続けられるよう、ケアを行っています。

(単位：件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
外来実施件数	491	456	450	447	406
入院実施件数	127	81	110	110	66

## 1-7 救急車搬送患者数・救急患者数

当院の救急外来を受診された患者数を表します。当院は、24時間に渡りいつでも患者さんを受け入れることができる体制を確保し、安全で標準化された救命救急を行っております。

《受入れ患者数》

(単位：人)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
救急車 搬送数	外来	967	815	447	415	444
	入院	741	593	443	561	673
	計	1,708	1,408	890	976	1,117
救 急 患者数	外来	5,162	5,013	2,761	2,999	4,056
	入院	219	290	264	298	496
	計	5,381	5,303	3,025	3,297	4,552

《1日あたり患者数》

(単位：人)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
救急車 搬送数	外来	2.6	2.2	1.2	1.1	1.2
	入院	2.0	1.6	1.2	1.5	1.8
	計	4.7	3.9	2.4	2.7	3.1
救 急 患者数	外来	14.1	13.7	7.5	8.2	11.1
	入院	0.6	0.8	0.7	0.8	1.4
	計	14.7	14.5	8.3	9.0	12.5

## 1-8 褥瘡推定発生率・有病率

褥瘡（床ずれ）は予防的ケアで防止することが重要です。褥瘡が発生すると治りにくく在院日数の延長や患者さんへの苦痛を伴うことが多いため、患者さんへの大きな負担となります。褥瘡が発生する危険因子を把握し予防対策を行うことが重要で、本指標はその質を評価する指標となります。

褥瘡推定発生率・有病率

(単位：%)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
褥瘡有病率	7.01	6.73	4.89	4.48	7.19
褥瘡推定発生率	3.03	2.01	1.73	1.42	2.33

### 褥瘡推定発生率

$$\frac{\text{分子 調査日に褥瘡を保有する患者数（入院時既に褥瘡保有が記録されていた患者除く）}}{\text{分母 調査日の入院患者数（調査日新規入院除く）}} \times 100$$

入院患者数には、1名の患者さんが褥瘡を複数部位有していても、患者数は1名として数えています。入院時既に褥瘡を保有していた患者さんであっても、新たに入院中に褥瘡が発生した場合、院内褥瘡発生者として取り扱い、褥瘡推定発生率を算出しています。

## 1-9 MRSA 発生率

MRSA感染率の年次変化をみるための指標です。院内感染を防止するため、当院では感染管理対策室を設け、感染防止に係る業務や院内への周知徹底に取り組んでいます。

(単位：件・%)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新規発生件数	103	93	22	52	42
院内発生件数	62	54	19	34	27
発生率 (%)	2.32%	0.15%	0.04%	0.10%	0.07%
新規検出率 (%)	1.47%	13.55%	8.27%	9.59%	8.03%

$$\text{発生率} = \text{MRSA に感染した入院延患者数} \div \text{入院延患者数}$$



## 1-10 転倒・転落率

全入院患者を対象に入院期間中の延患者人数に対する期間中に発生した転倒転落の件数の割合です。

(単位：件・%)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
転倒・転落数	105	153	170	189	190
損傷数	21	24	27	21	5
発生率 (%)	1.47	2.41	3.19	3.47	3.34
損傷率 (%)	0.29	0.38	0.51	0.39	0.18

$$\text{転倒・転落発生率} \quad \text{発生率} = \frac{\text{報告件数}}{\text{入院述べ患者数}} \times 1000$$

$$\text{転倒・転落損傷発生率} \quad \text{発生率} = \frac{\text{中度・重度の報告件数}}{\text{入院述べ患者数}} \times 1000$$

## 各科に関する指標

### 2-1 薬剤に関する指標

#### 処方箋枚数

処方箋枚数は、医師が患者さまの病気の治療に必要な薬の種類や量、服用法を記載した書類の枚数です。  
薬剤師が処方箋の内容が適正であるか 確認した後、調剤します。

(単位：件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
院内処方(外来)	2,821	2,356	1,246	1,436	3,110
院内処方(外来)	19,109	16,689	14,592	15,125	15,948
院外処方	63,847	58,311	47,475	46,620	44,713

#### 無菌製剤処理件数

無菌製剤とは無菌であることを検証した製剤であり、経験豊富な薬剤師がクリーンベンチ（空気中の細菌を取り除いた空間）において調剤を行った件数です。

(単位：件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
中心静脈栄養調製	1,739	1,664	1,407	1,618	1,867
抗がん剤調製(外来)	421	394	401	412	376
抗がん剤調製(入院)	138	92	119	75	62

## 2-2 画像診断に関する指標

### 検査項目別実施件数

画像診断とは、電離放射線（X線など）、超音波、核磁気共鳴などを用いて、主として疾患による形態上の変化を画像化し診断することで、この検査を実施した件数です。

(単位：件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
CT検査	8,526	7,758	7,246	7,479	7,438
MRI検査	2,405	2,150	1,853	1,984	2,013
心臓カテーテル	151	46	33	45	34
核医学検査（RI）	347	329	296	189	180
マンモグラフィー	535	476	380	412	456

### 高額医療機器の活用件数（共同機器利用と画像撮影依頼等の紹介）

当院の保有する高額医療機器を、近隣クリニック等の団体にて活用していただいた件数です。

(単位：件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
CT検査	654	372	404	355	361
MRI検査	947	597	532	565	595
核医学検査（RI）	87	—	—	—	—

## 2-3 臨床検査に関する指標

### 救急医療の指数

《救急医療指数の定義》

#### 緊急対応可能検査及び割合

院内で実施する検体検査における検体受付後60分以内での報告、及び生理検査における当日報告が可能な緊急対応可能検査項目数とその割合

(計算式)

$$\text{緊急対応可能検査項目数} \div \text{全体検査項目数} \times 100$$

#### 緊急検査に対する所要時間 (TAT : ターンアラウンドタイム)

院内で実施する生化学検査における緊急検査依頼の検体受付から報告確定までの平均時間

#### 精度管理調査評価評点

外部精度管理における日本医師会臨床検査精度管理調査の結果 (評価項目修正点数)

日本臨床検査技師会精度管理調査の結果 (AB評価%)

(単位: 個・%・点)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
救急対応検査項目(検体)	124	124	124	124	124
割合 (%)	93.2%	93.2%	93.2%	93.2%	93.2%
救急対応検査項目(生理)	17	17	17	17	17
割合 (%)	81.0%	81.0%	81.0%	81.0%	81.0%
緊急検査所要時間(TAT)	34分	35	35	35	35
精度管理評価(日医)評点	99.1点	96.2点	98.2点	97点	92.5点
精度管理評価(日臨技)評点	98.6点	98.6点	100点	99.6点	99.6点

## 検査項目別実施件数

診療目的で行われる患者さんの傷病状態を評価するため、患者さんから採取した血液や尿、便、細胞等を調べる「検体検査」と、心電図や脳波など患者を直接調べる「生理機能検査」の2つに分けられます

(単位：件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
尿・糞便検査	25,236	54,368	49,980	51,278	51,082
血液学的検査	66,088	74,685	67,471	74,975	72,772
生化学検査	521,714	543,096	522,213	522,718	578,291
免疫学的検査	36,535	41,887	40,260	45,893	44,079
微生物学的検査	4,929	4,711	4,165	5,039	4,629
生理学的検査	8,606	7,879	6,673	7,137	7,175
輸血関連検査	3,121	2,044	1,261	1,535	1,761
病理学的検査	1,779	4,090	3,004	3,303	3,419

## 2-4 リハビリテーションに関する指標

### 疾患別リハビリテーション実施件数

疾患別（心大血管疾患・脳血管疾患・運動器疾患・呼吸器疾患・廃用症候群・がん疾患・接触嚥下）のリハビリテーション実施件数です。

(単位：件)

	平成30年	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
脳血管疾患	15,396	12,317	11,597	9,274	10,228
運動器疾患	13,552	11,548	7,042	6,377	6,275
呼吸器疾患	1,022	1,361	5,671	8,740	8,876
心大血管	1,348	1,364	1,871	1,409	2,775
がん	2,037	2,089	1,735	1,794	2,459
廃用症候群	9,475	10,042	9,187	9,643	10,637
摂食機能療法	4,161	3,143	4,270	5,213	4,563

## 2-5 栄養に関する指標

### 栄養指導実施件数

栄養知識の伝達，食生活面の具体的な指導・援助を行って健康の維持・増進を図る活動件数です。

(単位：件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入院栄養指導	526	483	466	455	418
外来栄養指導	484	446	417	595	415
集団栄養指導	44	43	0	0	0

### 栄養サポートチーム（NST）回診件数

医師や管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・看護師・言語聴覚士・理学療法士・歯科衛生士などの専門スタッフが連携し、それぞれの知識や技術を持ち合い、入院患者さんに対して栄養支援チームが活動した件数のことです。

(単位：件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
合計	1,015	918	1,062	951	762

### NST外来件数

外来診療にて、医師や管理栄養士・看護師・言語聴覚士などの専門職スタッフが連携し、嚥下機能評価を実施し、その結果に応じて嚥下リハビリ・栄養指導を実施した件数のことです。

(単位：件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
合計	17	12	12	13	11

## 2-6 医療機器の安全管理に関する指標

ME機器（Medical Engineering（医用工学）の頭文字を取った略称）で、特に患者の診断や治療、監視に使用する医療機器を指します。ME機器の故障による事故を未然に防ぐため、使用前・使用后、また定期的に点検を行っている件数です。

（単位：件）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
点検件数	2,144	2,119	3,205	4,142	4,499



# 看護に関する指標

## 3-1 認定看護師数

認定看護師とは特定の看護分野にて熟練した看護技術と知識を持ち水準の高い看護を実践できる、専門的な資格を持った看護師です。

	資格分野名	知識と技術（一部）	取得者数
1	救急看護	・救急医療現場における病態に応じた迅速な救命技術、トリアージの実施 ・災害時における急性期の医療ニーズに対するケア ・危機状況にある患者・家族への早期的介入および支援	2名
2	皮膚・排泄ケア	・褥瘡などの創傷管理およびストーマ、失禁等の排泄管理 ・患者、家族の自己管理及びセルフケア支援	2名
3	集中ケア	・生命の危機状態にある患者の病態変化を予測した重篤化の予防 ・廃用症候群などの二次的合併症の予防および回復のための早期リハの実施	
4	緩和ケア	・疼痛、呼吸困難、全身倦怠感、浮腫などの苦痛症状の緩和 ・患者、家族への喪失と悲嘆のケア	1名
5	がん化学療法看護	・がん化学療法薬の安全な取り扱いと適切な投与管理 ・副作用症状の緩和およびセルフケア支援	2名
6	がん性疼痛看護	・痛みの総合的な評価と個別的ケア ・薬剤の適切な使用および疼痛緩和	
7	訪問看護	・在宅療養者の主体性を尊重したセルフケア支援および ケースマネジメント看護技術の提供と管理	1名
8	感染管理	・医療関連感染サーベイランスの実践 ・各施設の状況の評価と感染予防・管理システムの構築	1名
9	糖尿病看護	・血糖パターンマネジメント、フットケア等の疾病管理および療養生活支援	1名
10	不妊症看護	・生殖医療を受けるカップルへの必要な情報提供及び自己決定の支援	
11	新生児集中ケア	・ハイリスク新生児の病態変化を予測した重篤化の予防 ・生理学的安定と発育促進のためのケアおよび親子関係形成のための支援	
12	透析看護	・安全かつ安楽な透析治療の管理 ・長期療養生活におけるセルフケア支援および自己決定の支援	
13	手術看護	・手術侵襲を最小限にし、二次的合併症を予防するための安全管理 (体温・体位管理・手術機材・機器の適切な管理等) ・周手術期（術前・中・後）における継続看護の実践	
14	乳がん看護	・集学的治療を受ける患者のセルフケアおよび自己決定の支援 ・ボディイメージの変容による心理・社会的問題に対する支援	
15	摂食・嚥下障害看護	・摂食、嚥下機能の評価および誤嚥性肺炎、窒息、栄養低下、脱水の予防 ・適切かつ安全な摂食、嚥下訓練の選択および実施	2名
16	小児救急看護	・救急時の子どもの病態に応じた迅速な救命技術、トリアージの実施 ・育児不安、虐待への対応と子どもと親の権利擁護	
17	認知症看護	・認知症の各期に応じた療養環境の調整およびケア体制の構築 ・行動心理症状の緩和、予防	2名
18	脳卒中リハビリテーション看護	・脳卒中患者の重篤化を予防するためのモニタリングとケア ・活動性維持、促進のための早期リハビリテーション ・急性期、回復期、維持期における生活再構築のための機能回復支援	2名
19	がん放射線療法看護	・がん放射線治療に伴う副作用症状の予防、緩和およびセルフケア支援 ・安全、安楽な治療環境の提供	
20	慢性呼吸器疾患看護	・安定期、増悪期、終末期の各病期に応じた呼吸器機能の評価及び呼吸管理 ・呼吸機能維持、向上のための呼吸リハビリテーションの実施 ・急性増悪予防のためのセルフケア支援	
21	慢性心不全看護	・安定期、増悪期、終末期の各病期に応じた生活調整及びセルフケア支援 ・心不全増悪因子の評価およびモニタリング	1名

### 3-2 看護師特定行為の認定

看護師特定行為とは、医師等の診療の補助です。一定の研修を受けた看護師が、手順書により診療の補助を実施します。実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が必要とされ、厚生労働省令で定められている21区分38行為をいいます。

区分	名称	行為	特定行為	認定者数	区分	名称	行為	特定行為	認定者数
1	呼吸器(気道確保に係るもの) 関連	1	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整		11	創傷管理関連	19	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	
		2	侵襲的陽圧換気の設定の変更				20	創傷に対する陰圧閉鎖療法	
2	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの) 関連	3	非侵襲的陽圧換気の設定の変更		12	創部ドレイン管理関連	21	創部ドレイン抜去	8名
		4	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整				22	直接動脈穿刺法による採血	
		5	人工呼吸器からの離脱				23	橈骨動脈ラインの確保	
3	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの) 関連	6	気管カニューレの交換		14	透析管理関連	24	急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理	1名
4	循環器関連	7	一時的ペースメーカーの操作及び管理		15	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	25	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	
		8	一時的ペースメーカーリードの抜去				26	脱水症状に対する輸液による補正	
		9	経皮的な心肺補助装置の操作及び管理		16	感染に係る薬剤投与関連	27	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時投与	
		10	大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度調整				28	インスリンの投与量の調整	
5	心嚢ドレイン管理関連	11	心嚢ドレインの抜去		19	循環動態に係る薬剤投与関連	29	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	
6	胸腔ドレイン管理関連	12	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更	30			持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整		
		13	胸腔ドレインの抜去	31	持続点滴中ナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整				
7	腹腔ドレイン管理関連	14	腹腔ドレインの抜去(腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。)		32	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	33	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	
8	ろう孔管理関連	15	胃ろうカテーテル若しくは腸瘻カテーテル又は胃ろうボタンの交換	1名	20	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連		34	
		16	膀胱瘻カテーテルの交換				35	抗けいれん剤の臨時投与	
9	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理) 関連	17	中心静脈カテーテルの抜去		36	抗精神病薬の臨時投与	1名	37	抗不安薬の臨時的投与
10	栄養に係るカテーテル管理(抹消留置型中心静脈用カテーテル管理)	18	抹消留置型中心静脈カテーテルの挿入		21	皮膚損傷に係る薬剤投与関連			38

## 地域医療連携に関する指標

### 4-1 紹介率・逆紹介率の推移

紹介率とは他の医療機関より紹介状を持参した初診患者さんの割合を示し、逆紹介率とは当院から他の医療機関へ紹介状を作成した患者さんの割合を示す指標です。昨今の医療情勢では、地域の中で各医療機関の役割分担を進めた上で、医療機関同士の連携を密にすることが重要となっています。

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
初診患者数	外来	13,687	12,452	8,143	8,667	10,934
	入院	968	807	867	1,214	1,063
	合計	14,655	13,259	9,010	9,881	11,997
紹介患者件数 (初診患者)	外来	1,618	1,444	1,187	1,194	1,076
	入院	508	450	469	508	502
	合計	2,126	1,894	1,656	1,702	1,578
救急自動車搬送患者数 (初診患者)	外来	688	580	309	294	357
	入院	487	394	262	370	398
	合計	1,175	974	571	664	755
うち、休日また夜間患者数	外来	450	375	198	103	320
休日・夜間の救急患者数 (初診患者)	外来	3,646	3,165	1,534	1,687	2,561
	入院	366	301	281	379	454
	合計	4,012	3,466	1,815	2,066	3,015
<b>紹介率</b>		<b>20.7%</b>	<b>19.9%</b>	<b>23.3%</b>	<b>22.3%</b>	<b>17.5%</b>
逆紹介件数	外来	2,121	1,704	1,516	1,561	1,338
	入院	963	873	650	788	936
	合計	3,084	2,577	2,166	2,349	2,274
<b>逆紹介率</b>		<b>30.0%</b>	<b>27.1%</b>	<b>30.5%</b>	<b>30.8%</b>	<b>25.3%</b>
<b>紹介件数</b>		<b>4,276</b>	<b>4,129</b>	<b>3,718</b>	<b>3,833</b>	<b>3,814</b>